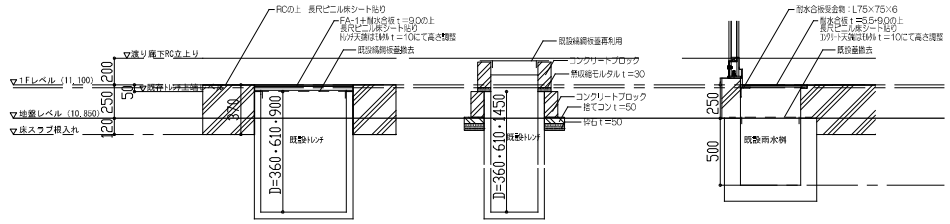
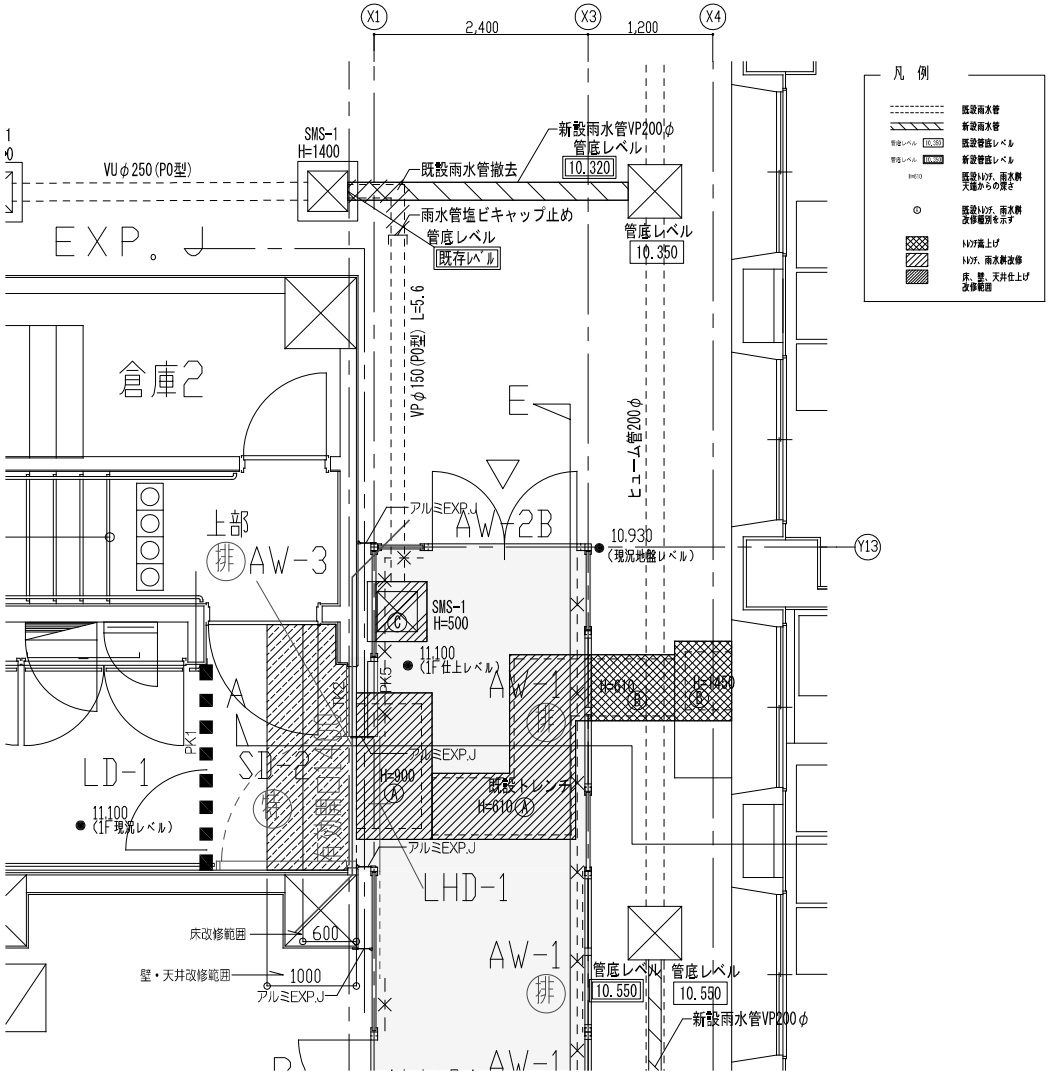
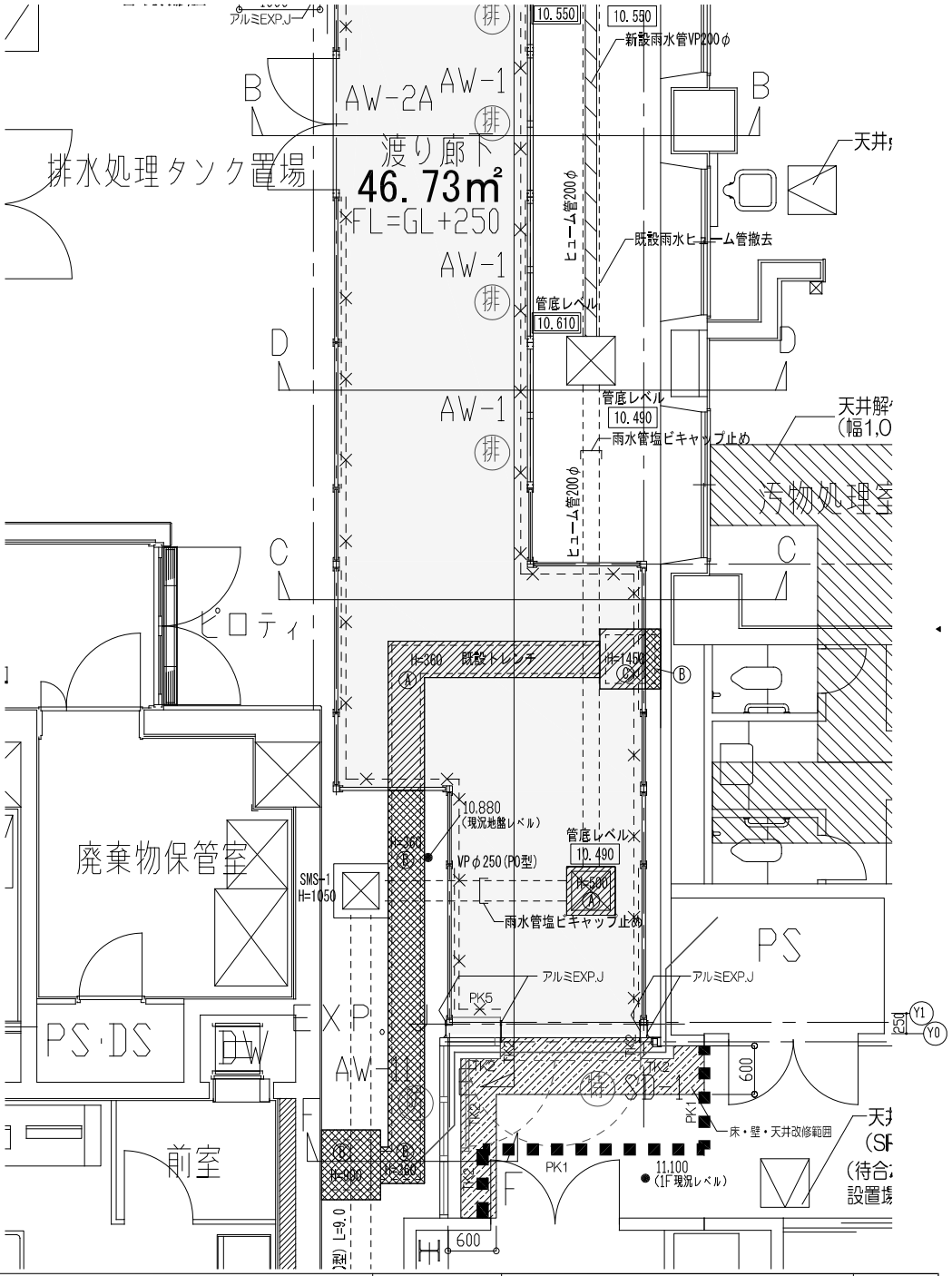






株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21061号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第23442号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第30749号
嶋 井 眞 之

平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

部分詳細図

A1：1/30
A3：1/60

A－24

建具特記事項

① 一般共通事項

⑪ 共通仕様
a 図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成26年版）」（以下「標仕」という。）による。
b 図示寸を限り、図面、仕様書の記載事項の優先順位は、質問回答書、現場説明書、特記事項、図面、標準仕様書の順序とする。
c 建具特記事項に記載の（ 。 。）内の表記数字は、種仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

⑫ 適用範囲
a 建具表に記載のない事項については本特記事項による。
b 本特記事項において、項目は番号に（○）印の付したものを適用する。
c 本特記事項において、特記事項は（○）印を付けたものを適用し、（○）印が無い場合は、◉印を適用する。
（○）印と（◉）印の付いた場合は、ともに適用する。
選択項目以外は、表記の内容を適用する。

⑨ 適用基準等
■ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成22年版）
■ 建築工事監理指針 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成25年版）

④ 建具寸法
建具表に示す巾、高さは枠内法寸法とする。
但し、引き戸に示す巾は、引き残し（120mm標則）を除いた有効寸法とする。

5) シーリング (9.6.1)
a ガラス留めはシリコンシーリング SR-1（低モジュラス材）
ガラス受け部はシリコンシーリング SR-1（高モジュラス材）とする。
b 防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた材料に限定し
「防火戸用指定シーリング材」（旧進則認定アルミニウム製乙種防火戸用指定シーリング材）を使用する。

6) 見本の製作等 (16.1.4)
特殊な建具の仮組（建具符号： ）

7) 性能確認試験
a 性能確認試験 ■ 実施しない ・ 実施する（建具符号： ）
b 試験の種類 ・ 耐風圧 ・ 耐震性 ・ 水密性 ・ 気密性 ・ 遮音性 ・ 断熱性

⑧ 防犯建物部品
OPマーク対応品を適用する（適用箇所には建具表による）
（16.1.6）
「防犯性能の高い建物部品目録」に掲載されている製品

⑨ 製作図
建具の製作図には、平面図（キープラン）、防火区画、材質、周囲との取合、ガラスの取付、シーリング材
その他、必要事項（型登具の指示）をもれなく記載すること。

10) 特定防火設備等
特定防火設備及び防火設備：建築基準法、建築基準法施行令、及び建築基準法に基づく告示の基準を満たすこと。

11) 非常用進入口
非常用進入口及び非常用進入口に代わる窓の部分で普通ガラス 5mm 、網入ガラス 6.8mm 、強化ガラス 5mm を
超える厚さ及び、合わせガラスの場合の外部ハンドルを設けること。また、同箇所に告示による
色や反射シートを設置すること。

12) 防火戸
a 付属品 面開き、及び親子扉は、各扉丸自動閉鎖装置および側鎖扉位置調整器付（隠蔽タイプ）とする。
b 整理込扉 鎖時閉鎖式感振知警連動扉は整理込式、スチール製三方枠とする。
c 扉 見付面積が3㎡を超える防火戸は子扉付とする。（下枠なしタイプ）

13) 特殊建具
X線遮蔽建具、放射線遮蔽建具、防熱扉は別紙詳細図による。

⑭ 区分
5 下記に○印を付けたものは、別工事項目とする。
（○）既製品パーティション付属建具 （○）家具、造作付属建具 （○）アコーデオンドア
・ トイレットブース用扉

⑮ 結露防止側溝
a 特記のない場合、平面図に示す、空気層冷度を保つ部屋、温度管理を要する部屋に設置する建具及びガラスは
下記の性能を有するものとする。
・ 建具表による
■ 当該の部屋に面する窓で、建具表の図示以外に、室内側に樹脂サッシ（ガラスF-6）を設置すること。
・ 当該の部屋に面する、建具、ガラスは、次世代省エネルギー基準（平成11年度基準）を満たすものとする。

16) 性能及び構造 (16.2.2) (16.3.2) (16.4.2)
a 鋼製気密型ドアセット ・ 適用する 気密性の等級（■A-3 ・ A-4
b 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級（・T-1 ■T-2 ・T-3 ・T-4 ）
c 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級（・H-1 ・H-2 ◉H-3 ・H-5 ・H-6）
◉＝cの使用箇所には建具表による。
d 耐震ドアセット ■ 適用する 面内変形追従性の等級（ ・D-1 ・D-2 ■D-3 ）
・ 避難用の出入口扉 ・ 避難経路に面する居室の扉
・ 図示による。

⑰ その他
a 特定防火設備、防火設備は、建築基準法施行令、建築基準法の基づく告示の基準を満たすこと。
b ガラス内側の見えがかりパックパネルは50+t12.5張りとし、EPを施すものとする。
c 建具の見えがり支持下地鋼骨は、SOPを施すものとする。
d 図示の無い場合、敷戸、引戸の路埋は無いものとし、仕上原が異なる場合はテーパー目地納にて対処すること。
e 図示の無い場合、扉の枠除は4型とし、見込みは仕上げ面に10mmのテリを加えた寸法とする。
f 外部に面する開戸（片開き戸、親子開き戸、両開き戸）は、図示の無い場合、t（セミエアタイト）とする。
g 親子開き戸・両開き戸は、図示のない場合、扉間鎖隙位調整器を設置すること。

② アルミニウム製建具（メタルカーテンウォール） AW AD

⑪ 性能及び構造 (16.2.2)
a 性能
a-1 建具の性能

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工個所
引違い窓	S-2	A-3	W-3		
引違い出入口	S-1	A-3	W-1		
両開きドア	S-2	-	-		

柱廻部に嵌め込み、外壁パネルと融合式（シーリングなし）
a-2 令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。
◉ a-1、a-2の性能を有するものとする。施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承認を得ること。
・ 風洞試験結果による数値。（日本建築学会・建築物荷重指針 同調設の設計用再現期間100年用いた数値。）

⑫ 形状及び仕上 (16.2.4)
a 外部に面する建具 ・ A1種(シルバー) ・ A2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）
■ B1種(シルバー) ・ B2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）
・ D種（化成被膜の上塗装） （・FUB ・ 図示 ）
b 内部建具 ■ S1種(シルバー) ・ S2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）
・ D種（化成被膜の上塗装） （・FUB ・ 図示 ）
c 光沢 ・ 艶有 ・ 艶無
d ●〜○以外の仕上を指定する場合は、建具表等考慮に（皮膜厚さ／塗膜厚さ／色見／光沢）を図示。

⑬ その他 (16.2.3)
a 網戸 ■ は内設し窓を除く全ての窓に設け、枠・縦は窓と同材とし、引違窓・片引窓等の場合は
ワンタッチロックにより窓枠に固定のこと。回転窓・開き窓等の場合はプリーツ網戸とする。
・ 網戸は原則として設けないが、必要箇所は建具表による。
b 防虫網の種 ■ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ SUS製
c 勝板、額縁、ボックス（ブラインドボックス、カーテンボックス）の仕様
■ 材質 スチール1.2t仕加工とし、足ががりとなる高さ（H700mm以下）の勝板は
スチール製t=2.3t仕加工 仕上 ■ SOP ・ AEB
・ 材質 サッシ同材 （○）材質 木製（集成材t 20） 仕上 ■ SOP ・ OL
■ 設置場所 勝板、額縁は外外のサッシに取り合う箇所に全て設置し、見込みは取り合う壁見込み
寸法に10mmを加えた寸法とする。
~~■ 設置場所 ボックスは外部に面する部屋他：建具表に記載された箇所に設置する ものとする。~~
~~ボックスの寸法は(W150×H150×L)：建具W+150×150とし、全てサイドカバー付きとする。~~
~~カーテンウォールの区分けは建具表参照のこと。記載がない場合はカーテンボックスとする~~
~~カーテンボックス全長は(L=W-(中柱幅))+2 引き込み(3mm)のライナー見込とする。~~
d 水切板 外部に面する窓には、同材の水切板を設け、端部に樹脂製キャップを施すこと。
e ハンドル等 引違窓、片引窓等にはクレセントを、回転窓、開き窓等にはハンドル及び
ステンレス製縦り止め（3段階調整付き）を設けること。
f 錠取付位置 クレセント、オペレーターハンドル等取付位置は
取付位置は、床上1,350mm を標準とし、800mm 以上1,500以下とする。
g 換気窓 ・ 図示による。
■ オペレーターハンドルはオイレスEC09番 指定色 ハンドルボックス110 耳隠線品以上とする。
h 結露受け 外部に面する窓には、結露受けを設け、額縁と敷居（ブチルゴムシーリング）処理のこと。
i 脱落防止機能 引違窓、片引窓には障子が容易に外れないよう脱落防止機構を設けること。
j ガラリ 外部に面するガラリで給気用・排気用共SUS製防虫網付とする。
有効開口率 35〜40 %の本平固定ガラリとする。
外部に面するガラリには、アルミ製チャンバー接続ボックス（フランジ付）を設ける。
特定防火設備、防火戸設備に設けるガラリはヒューズ付鋼製四転ガラリとする。

③ 鋼製建具 SW SD SO

1) 性能及び構造 (16.3.2)
a 外部に面する建具の耐風圧性能 ■S-5 ・
b 令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。
■ a、b の性能を有するものとする。施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承認を得ること。

2) 材 料 (16.3.3)
a 鋼板表面処理亜鉛めっき付着量 ■ Z12またはF12を施工するもの ・

3) 形状・仕上 (16.3.4)
a 扉の有効寸法、W950mm、H2400mm以内の、鋼製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16.9.2）による。
b 扉の有効寸法、W1400mm、H3000mmの双方を超える枠の板厚は t 2.3mm ・ 建具製作所の仕様
c 扉厚 ■ 有効寸法、W1150mm、H2400mm以内の扉厚は t 40mm ・ 建具製作所の仕様
■ 有効寸法、W1400mm、H2900mm以内の扉厚は t 50mm ・ 建具製作所の仕様
■ 有効寸法、W2000mm、H3500mm以内の扉厚は t 60mm ・ 建具製作所の仕様
■ 有効寸法、W2000mm、H3500mmを超える扉厚は t 80mm ・ 建具製作所の仕様
d 外部に面する建具塗装 ■ FU ・ SOP ・ FUB ・ AEB
e 内部建具塗装 ・ FU ■ SOP ・ AEB

4) その他
a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
b 隙間は特記の無い場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。（額縁レス）
c ガラリの材質は鋼製とし、山型形状とする。開口部は扉材を欠き込んだものとする。（額縁レス）
d 建具表にて、T（エアタイト 気密性A-4）、t（セミエアタイト＝簡易気密型ドア 気密性A-3）とあるものは
枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。
e 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）
を充填すること。また充填材は発化によりずれない様にすること。
f 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS HL仕上 t 1.5mm、出30mmの水切り板を設け
縦得は、SUS HL仕上を設置すること。
g 外部に面する建具枠
■ SUS製とし、仕上げは下記による。
■ HL ・ FUB ・ 図示（ ）
・ 鋼製製とし、仕上げは下記による。
■ FUB ・ FU ・ 図示（ ）

④ 鋼製軽量建具 LD LW

⑪ 適用範囲 (16.4.1)
a 鋼製軽量建具は、外部および、水がかりのある部位には使用しないものとする。

⑫ 材 料 (16.4.3) (16.)
a 材料 ・ カラー鋼板 （色合いは建具製作所の標準色）
・ 溶融亜鉛めっき鋼板 （指定色を使用する場合）
■ 電気亜鉛めっき鋼板 （指定色を使用する場合・色合いは建具製作所の標準色）
・ ビニル被覆鋼板 （色合いは建具製作所の標準色）

b 仕上 ・ UEB ■ AEB ・ メラミン焼付塗装 ・ 塩ビシート貼 ・ 図示
・ SOP（現場塗装） ・ FU（現場塗装） ・ 図示

⑬ 形状・仕上 (16.4.4)
鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さは（表16.4.1）による。

⑭ その他
a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
b 隙間は特記の無い場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。（額縁レス）
c ガラリの材質は鋼製とし、山型形状とする。開口部は扉材を欠き込んだものとする。（額縁レス）

⑤ ステンレス製建具 NW ND NO

1) 性能及び構造 (16.5.2)
a 外部に面する建具の耐風圧性能 ■S-5 ・
b 令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。
■ a、b の性能を有するものとする。施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承認を得ること。

2) 材 料 (16.5.3)
a ステンレス鋼板 ■ SUS304 ・ SUS430

3) 形状・仕上 (16.5.4)
a ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16.5.1）による。
b 特記の無い場合、巾寸150程度とする。

4) 工法 (16.5.5)
a 曲げ加工 ■ 普通曲げ
角出曲げ加工 ・ a角（0.5mm） ■ b角（0.75mm） ・ c角（1.0mm）

5) その他
a 面開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
b 隙間は特記の無い場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。
c ガラリの材質は鋼製とし、山型形状とする。開口部は扉材を欠き込んだものとする。
d 建具表にて、T（エアタイト 気密性A-4）、t（セミエアタイト＝簡易気密型ドア 気密性A-3）とあるものは
枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。
e 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）
を充填すること。また充填材は発化によりずれない様にすること。
f 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS HL仕上 t1.5mm、出30mmの水切り板を設け
縦得は、SUS HL仕上とする。
g 特記の無い場合、ステンレス建具の表面処理
外部に面する部分はフッ素樹脂クリアー塗装、内部はウレタン樹脂クリアー塗装を施すこと。

⑥ 木製建具 WW WD WO

1) 材 料 (16.6.2)
a 建具材の加工及び組立時の含水率
・ A種 ■ B種 ・ C種
b フラッシュ戸 ■ メラミン化粧合板t4帖 ・ 普通合板t4帖りの上建具表による仕上
・ しな合板t4帖りの上建具表による仕上
c かまち戸 ■ かまち（ありむ）鋼板（ありむ）・ かまち（ ）鋼板（ ）
d ふすま・戸ぶすま ■ 枠カシュー塗装、新角の子紙貼
e 面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は F☆☆☆☆ とする。
f 枠及びくつずりの材料 ■ 木製枠 ・ 鋼製枠及び SUS製くつずり

2) 形状及び仕上 (16.6.3)
a フラッシュ戸の見込み ■ W960以下X H1,000未満 t30 ■ W960以下X H2,000未満 t38〜36
■ W960以下X H2,400未満 t36〜40 ・ 建具表による。
b かまち戸の見込み ■ t30 mm ・ 建具表による。
c ふすまの見込み ■ t19.5 mm ・ 建具表による。
d 戸ふすまの見込み ■ t30 mm ・ 建具表による。
e 舐張り障子の見込み ■ t30 mm ・ 建具表による。

3) 工 法 (16.6.4)
特記の無い場合は16.6.4に準ずる。

4) その他

⑦ 建具用金物

⑪ 適用範囲 (16.7.1)
既製又はこれに準ずる建具用金物
■ 下記の特記による ・ 建具製作所の仕様による

⑫ 材質、形状及び寸法 (16.7.2)
建具金物の種類及び材質
■ 下記の特記による ・ 表16.7.1による

⑬ 鍵 (16.7.4)
a 鍵の調製は、マスターキー、グランドマスターキー、グレートグランドマスターキー編成とする。
b 鍵箱は、市販品の折りたたみボックタイプとする。（60本用X2か所）

④ 錠
a 錠の仕様 ■ 下記を適用する。
製 品 美和ロック（株）の製品シリーズ番号で示すものとする。
材質・仕上 SUS製、HLとする。
シリンダー形状 ■ U9シリンダー
・ LBシリンダー ・ PRシリンダー （○）JNシリンダー

種 別			
レバーハンドル錠	LHS	グレモン錠	GT
ケースロック	WHS	浴室錠	BW
本錠め付モノロック	HW	表示錠	HW-8
本錠錠（一般扉）	DA	ケースハンドル錠	OWO
本錠錠（自動ドア）	DG2	引戸錠錠	FG
空錠	LG,OW	電気錠	AUシリーズ
非常解錠錠付本錠錠	DA-E	カードロック	MO20
引戸錠	UD	ランダムテンキーロック	TK4L

b 施錠方式 シリンダー錠で特記のない場合、片面シリンダー。片面サムターンとする。

c 電気錠 電気錠までの一次側配管配線は電気工事とし、操作盤（制御盤）および錠本体・二次配線は
警備設備連動の場合は警備設備工事とし、以外については建築工事とする。
また、建具内の配管、及び取り付けのための加工事は建築工事とする。
自動ドアの場合はブーリロック式電気錠とする。

⑤ 吊金物
a 丁番 アルミ製、鋼製、ステンレス製、鋼製軽量製は強丁番。（株）ペストNO.127同等品以上とし
127mm2丁（H2,000未満）、127mm3丁（H2,000以上&400以下）を使用すること。
木製扉は強皇型丁番。（株）ペストNO.110同等品以上とし
102mm2丁（H2,000未満）、102mm3丁（H2,000以上&400以下）を使用すること。
軽量スチール扉の場合、製作会社の標準仕様によることができる。
ロングピン3丁番は、東京蝶（株）ロ-トン・ロウ"ピン"同等品以上とする。

b ヒンジ（c〜g）は日本ドアーチェック製造所の製品シリーズ番号で示し、記載品番の同等品以上とする。
c ピボットヒンジ 0-130AN
d オートヒンジ HOシリーズ
e フロアーヒンジ Hシリーズ
防火戸用 Fシリーズ、強化ガラス戸用 Gシリーズ
床仕上が石張り、タイル張り、カーペット張りのときは仕上材張り付け用のものとする。
f ドアチェック 一般のドアチェックは7700Vシリーズ、コンシールドタイプは60シリーズ
木製は60
g 点検口用ヒンジ THシリーズ
g 扉間鎖順位調整器 SF-900FK、SF-1200FK、SF-1500FK

⑥ 建築金物
a 把 手 特記のない場合、レバーハンドルは 64 型。握玉は U 型とする。
b ドアハンドル 特記のない場合、ステンレス扉には（株）ユニオン T2098 ステンレスヘアライン同等品以上とし
それ以外の扉には（株）ユニオン H2154 同等品以上とする。
c 戸当たり 開き戸には戸当り、（株）ユニオン UT-1 同等品以上をる扉大1箇所規定に取付けること。
d フランス窓とし 両開扉および親子扉には片側にフランス落しを上下1箇取付けること。
e 外部に面する扉には、ドアクローザーとあおりとめを設置のこと。
f フロアーヒンジ、ピボットヒンジは雨がかり部分には使用しないこと。
g 建具金物を取り付ける部分には面材裏に補強材を設置のこと。

⑧ 自動ドア開閉装置

1) 性 能 (16.8.2)
a スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値は、（表16.8.1）により、開閉方法、適用戸の質量に準じた
仕様とする。
b スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値は、（表16.8.2）により、開閉方法、適用戸の質量に準じた仕様とする。

2) 構 造 (16.8.3)
a 駆動装置 ■ 電気式 ・ 空気圧式 ・ 油圧式
b 特記の無い場合、センサーの種類は近赤外線反射式（離べい式）とする。
c 寒冷地における凍結防止措置 ■ 行う。 ・ 建具表による。
d スライディングドア用自動ドア開閉装置のセンサー検出範囲は
奥行方向、戸の中心より1,000mm、幅方向、有効幅に左右150mm以上とする。
e スライディング用ドア自動ドアに特記の無い場合、戸袋側に巻き込み不防止機等を設置すること。
■ SUS製 H900X非幅（躯体寸法 60,5φ、鏡板 27,2φ ◎200）
・ SUS製 H900X非幅（躯体寸法 FB9X32、鏡板6X20 ◎200）
f センサーの種類に関わらず、補助光電センサーを床面から200mm〜700mmの間に設置のこと。
g スライディングドア自動ドアは、指挟み及び引き込まれ防止の為、全開時に戸先と方立の間
ドア付タッチスイッチと方立の間、全開時に戸先と壁枠又は壁との間に300mm以上の隙間を設けること。
h 自動ドアの安全上の仕様は（スライド式自動ドアの安全ガイドブック 全国自動ドア協会）による他
製造者の基準による。
i 自動ドアは上記hの安全基準を満たし、使用箇所、用途により下記の安全対策も合わせて講じること。
I-1 透明なガラスへの衝突防止表示 I-2 用途に応じた、開き、閉じ速度と開放保持時間
I-3 扉の軽量化と戸先金物の純化 I-4F7面のひっ掛りの少ない形状
j 避難経路となるスライディングドア自動ドアは、ブレークアウト機構を有する様、次の機能を有すること。
■ パニックオープン機構 ■ 地震対応強化部品の採用

3) その他
a 電源スイッチは壁付とし、床上1,050mmを標準とし、鍵付きのボックス内に設置のこと。
b ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製HL、屋内設置は鋼製AEB仕上とし
設置場所は監督員と協議のこと。

⑨ 自動式上吊り引戸装置

1) 性能 (16.9.3)
2) その他
引戸に関する事項
自動式上吊り引戸装置の性能は、（表16.9.1）による。
a 下記に適用する、用途片引戸はフリーストッパー付とする。
■ 医療、福祉施設 ・ 学校 ・ 図示による。
b 特記無き引戸はLBS建具納タイプとする。（平面詳細図・平面図参照）
c 次期りは外付けタイプとする。
d 開鎖方式は下記による。
■ 傾斜レール式 ・ スプリングクローザー ・ バランサーウェイト
e 作動性は、開鎖・鎖動時水平反力を、10N以下とし、引き力計算は左右独動とする。
f ●以外に作動性能を指定する場合は、右記による（ ）

⑩ 重量シャッター SS

1) 形式及び構造 (16.10.2)
a 外部に面する重量シャッターの耐風圧性能 ■S-2 ・
b 開閉機能は ■ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
c 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。
d シャッターのシャッターケース ■ 設ける ・ 設けない
e 下記に適用する、シャッター部品は防犯建物部品とする。
■ 管理用シャッター ・ 建具表による
f 右記の機能は建具表記載による。注意喚起装置・特殊シャッター（気密、防雪、高遮、水圧解除、防輪、低振動）
g 屋外に面し設置するシャッターのガイドレール、まぐさ、座板はSUS製とする。
また、雨の吹き込みが予想される座板には合成ゴム製の止水パッキンを設置すること。
h 内部シャッターの仕上げは下記による。
ガイドレール ・ SUS ■ ガイドSUS 、見えがかり部鋼製 AEB
まぐさ ■ SUS ・ 鋼製 AEB
座板 ■ SUS ・ 鋼製 AEB
c 管理用を除くシャッターのスラットは錆止塗装仕上げとする。
d 管理用シャッターのスラット仕上げは下記による。
屋外設置 ■ SUS ・ アルミ ・ 建具表による。
屋内設置 ■ 鋼製 AEB ・ 建具表による。
e グリルシャッターのパイプは ■ SUS ・ アルミ ・ 鋼製 AEB
f 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製HL、屋内設置は鋼製AEB仕上とし
設置場所は監督員と協議のこと。

⑪ 軽量シャッター LS

1) 形式及び機構 (16.11.2)
a 外部に面する軽量シャッターの耐風圧性能 ■ S-2 ・
b 開閉機能は ■ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）
c 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。

2) 材料 (16.11.3)
a スラット材質 ■ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）または
JIS G 3318（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 ・ 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
b スラット 形状 ■ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

3) 形状及び仕上 (16.11.4)
a シャッターの仕上は下記による。
ガイドレール ■ ガイドSUS製、見えがかり部鋼製 AEB ・ アルミ製
まぐさ ■ SUS製 ・ 鋼製 AEB ・ アルミ製
座板 ■ SUS製 ・ 鋼製 AEB ・ アルミ製
b グリルシャッターのパイプは ■ SUS製 ・ アルミ製 ・ 鋼製 AEB
c 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製HL、屋内設置は鋼製AEB仕上とし
設置場所は監督員と協議のこと。

⑫ オーバーヘッドドア OD

1) 形式及び機構 (16.12.2)
材 料 (16.12.3)
形状及び仕上げ (16.12.4)
セクション材料 ■ 鋼製方式 ■ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ■ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形
b ガイドレール 材質 ■ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ SUS製
2) その他
a 断熱仕様は図示による。

⑬ ガラス

1) 材料 (16.13.2)
a 板ガラスの種類、厚さ等は建具表による。
b 合わせガラスの特性 ・ I類 ■ II-2類 ・ II-3類 ・ II類 （■ 曲面ガラスの場合は、I類）
c 強化ガラスの特性 ・ I類 ■ II類
d 熱線吸収型ガラスの特性 ・ I類 ■ 2類
e 複層ガラスの特性 ・ 1種 (U1) ・ 2種 (U2) 断熱複層ガラス
・ 3種 (U3-1) ・ 3種 (U3-2) Low-E複層ガラス
・ 4種 (E4) 日射熱遮へい ガラス
■ 5種 (E5) 複層ガラス
f (JIS R 3221) 割止の加圧耐久性による区分 ・ I類 ・ II類 ■ III類
f 熱線反射ガラスの日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ■ 3種
g ガラス留め材

建具の種類	材質
アルミニウム製	■ シーリング材 （○）ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製・鋼製軽量・SUS製	■ シーリング材 ・ ガスケット ・
木製	■ シーリング材 ・ 木製押縁 ・

h 防火設備・特定防火設備のガラス留め材は、建築基準法の基づく告示の基準を満たすこと。

	寸法	色調	小口の柄	パターン	割火等
ガラスブロック (16.13.5) (JIS R 6212)	・145 ・190 ・	・クリア・熱線反射 ■ 乳白・カラー（ ） ・	・白 ■ 梅定色（ ） ・	・プレーン ・図示	・なし ・特定防火設備 ・防火設備

2) ガラスブロック (16.13.5) (JIS R 6212)
b 金属製化粧カバー 材質 ■ アルミ製 ・ SUS製
寸法 ■ 建具表による。 ・
形状 ■ 特記の無い場合は監理指針（図16.9.3）による。

3) フィルム貼
a 飛散防止フィルム 特記なき場合 住友3M-SA SH20L 同等以上とする。
b 半透明フィルム 特記なき場合 住友3M-SA SH2MAGR32（マットクリスタル2） 同等以上とする。
c 防犯フィルム 特記なき場合 住友3M-SA ULTRA2200-A 同等以上とする。
d その他、上記以外については図示（飛散防止フィルム 防犯フィルム ）

4) その他
a 強化ガラス使用箇所で、床面及び地上面から3m以内の箇所には飛散防止フィルム等の落下防止対策を講じること。
b 備考欄に「表示防止マーク」とあるものは、ガラス面面に SUS製30φ◎600をシール留めのこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21OG15号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第234442号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第307492号
岡 井 眞 之

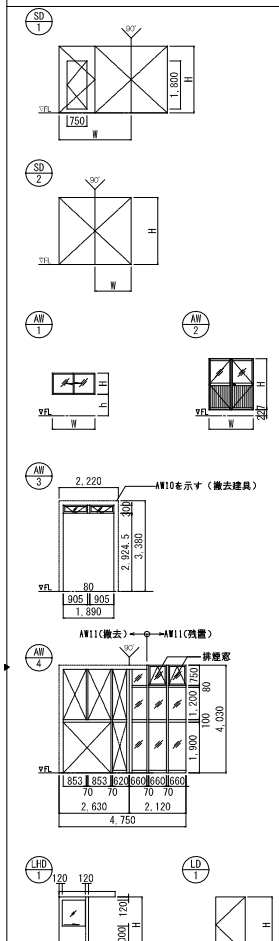
平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

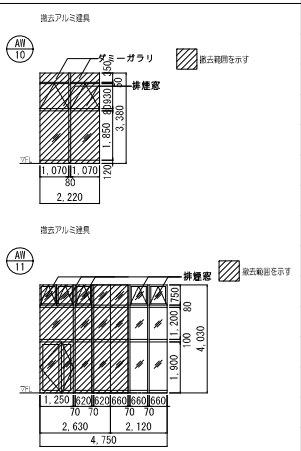
建具特記

A1：-
A3：-

A－25

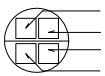
形状





記号	取付箇所	数量	建具寸法 W1	W2	H1	H2	D	枠形状	召摺	仕上	錠	建具金物 把手引手	吊金物	自閉装置	ガラス 種別	厚	種別	備考
			W		H													
SD 1	1F 待合ホール（本館）	1	1,733		1,900		50	E	C	SOP	—	T	A	O	—	—	特S	90° ピルトイン くぐり戸有 常開
SD 2	1F 廊下1（PETｲﾒｰｼﾞｹﾞｾﾝﾀｰ）	1	1,400		2,000		50	E	C	SOP	—	T	A	O	—	—	特S	90° ピルトイン 常閉
AW 1	1F 渡り廊下	4	1,636		895		70	—	—	EC	K2	—	—	—	F	6	—	h=1,209 飛散防止フィルム貼り（防犯）
AW 2A	1F 渡り廊下	1	1,638		1,885		70	—	—	EC	H1	H	H	DO	F	6	—	飛散防止フィルム貼り（防犯）
AW 2B	1F 渡り廊下	1	1,646		1,885		70	—	—	EC	H1	H	H	DO	F	6	—	飛散防止フィルム貼り（防犯）
AW 3	1F 廊下1（PETｲﾒｰｼﾞｹﾞｾﾝﾀｰ）	1	図示		図示		70	—	—	EC	—	—	—	—	FW	6.8	0防	排煙オペレータ（手動式） 開放角度85度 カバー工法
AW 4	1F 待合ホール（本館）	1	図示		図示		100	—	—	EC	—	—	—	—	FW	6.8	防	カバー工法
LHD 1	1F 渡り廊下	1	1,400		2,000		40	D	C	AEB	L1	S	S	S	F	5	不	
LD 1A	1F 各室	1	800		2,100		40	A	C	AEB	L1	L	P	DO	—	—	不	板設用
AW 10	1F 廊下1（PETｲﾒｰｼﾞｹﾞｾﾝﾀｰ）	1	2,220		3,380		70	—	—	EC	—	—	—	—	F	6	—	
AW 11	1F 待合ホール（本館）	1	図示		図示		100	—	—	EC	L1	L	H	DO	F	6	—	排煙オペレータは両吹き付け

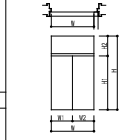
建具記号



第1符号 ： 材 質
第2符号 ： 機 能
第4符号 ： 記 号（ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ）
第3符号 ： 形 状（数字）

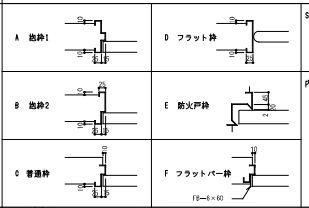
材質		機能	
A	アルミ製	D	扉，戸
S	スチール製	H	引 戸
N	ステンレス製	W	窓
W	木製	S	シャッター
L	軽量スチール製	G	ガラリ
WA	木アルミ複合	F	ふすま
X	スチール製 （鉛筆）	P	障子
O	建具なし（枠のみ）	O	建具なし（枠のみ）
SP	スチールパーティション	CW	カーテンウォール

建具寸法

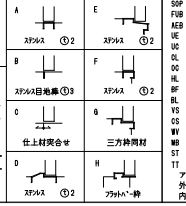


W ： 枠内法有効巾（扉厚除く）
H ： 枠内法有効高さ
D ： 扉見込
（アルミ製建具は枠見込）

枠形状



召摺



仕上

SOP	合成樹脂調合ペイント塗
FSR	フッ素樹脂焼付塗装
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
UE	ポリウレタン樹脂エナメル塗
UC	ウレタン樹脂クリヤー塗
CL	クリヤラッカー塗
OC	オイルステイン・クリヤラッカー塗
HL	ヘアライン仕上
BF	バフ仕上
BL	ステンレスバイブレーション仕上
VS	化粧塩ビシート貼
CS	クロス貼
WV	天然木練付VO塗装
MB	メラミン化粧板貼
ST	石貼
TT	タイル貼
アルミ建具仕様	
外部	A1, A2, B, D
内部	C , D

錠

L	レバーハンドル付本錠
H	握玉付本錠
W	ユニット錠（モノロック）
D	本錠
O	空錠（ローラー空錠含）
E	非常解錠装置付本錠錠
U	引戸錠
G	グレモン錠
B	浴室錠
I	表示錠（非常解錠装置付）
C	ケースハンドル錠
F	鍵錠
T	点検錠
X	電気錠
Y	カードロック
Z	特殊錠（備考欄による）
K	クレセント・レバーハンドル

本錠錠の施錠方式
- 1 シリンダー ― サムターン
- 2 シリンダー ― な し
- 3 な し ― サムターン
- 4 シリンダー ― シリンダー

電気錠の作動方式
- a 瞬時通電電解錠型
- b 瞬時通電電解錠型
- c 通電時解錠型
- d 通電時施錠型
- e モーター施解錠型
- s セキュリティー

建具金物

把手・引手

L	レバーハンドル
H	握玉
C	ケースハンドル
G	グレモンハンドル
S	ドアハンドル（引手）
P	押板
T	取込引手

吊金物

H	丁番
P	ピボットヒンジ
A	オートヒンジ
F	フロアヒンジ
S	引戸用ハンガーレール
T	点検扉用ピボットヒンジ
L	ラバトリヒンジ
AP	オートピボット

自動閉鎖装置

DS	ドアチェックストップ付
DO	ドアチェックストップなし
FS	ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ(半自動式引戸)
S	自閉装置ストップ付
O	自閉装置ストップなし
T	点検用バスプリングヒンジ
A	自動ドア
A	手術用近接スイッチ(非接触)
S	静電式
I	赤外線式
R	光線遮断式（タッチ式）
F	光線遮断式（フット式）
P	押釦式（ワイヤレス）
B	押釦式（自障者用）
M	ゴムマット式
K	光線スイッチ（反射型）

ガラス

F	フロート板ガラス
FW	網入り板ガラス
K	型板ガラス
KW	網入型板ガラス
A	熱線吸収ガラス
R	熱線反射ガラス
T1	強熱強化ガラス（ｽﾊﾟｰｸﾘﾌﾄ）
T2	強熱ガラス（ﾌｧｲﾔｰﾌﾛｰﾄ）
T3	低輝度強熱ガラス（ピラン）
T	強化ガラス
X	鉛入ガラス
B	ガラスブロック
U	合成樹脂板

／は、合わせｶﾞﾗｽを示す
＋は、複層ｶﾞﾗｽを示す
記号(外側中空層内側)
- U2 断熱複層ガラス
- U3-1 LOW-E複層ガラス
- U3-2 LOW-E複層ガラス
- E4 日射熱遮へい ガラス
- E5 複層ガラス

種別・機能

特	特定防火設備
防	防火設備
不	不燃扉
避	非常用進入口
代	非常用進入口に代わる窓
S	感知器連動
O	排煙オペレーター付
E	電動シャッター
T	エアタイト扉
t	セミエアタイト扉
A	防音サッシ
P	断熱サッシ（枠・障子共）
F	面一サッシ（水切板なし）
B	ブラインド内蔵サッシ
CP	熱貫流率部品適用
GC	ガラスクランプ工法
GS	ガラススタビライザー工法

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21O615号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第233442号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第307492号
畠 井 眞 之

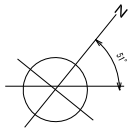
平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

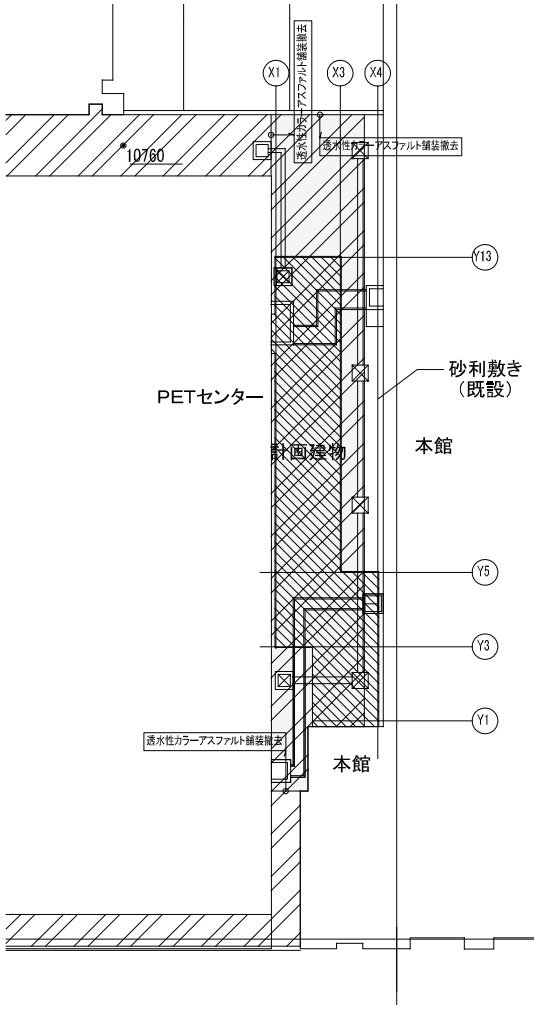
建具表

A1：NON
A3：NON

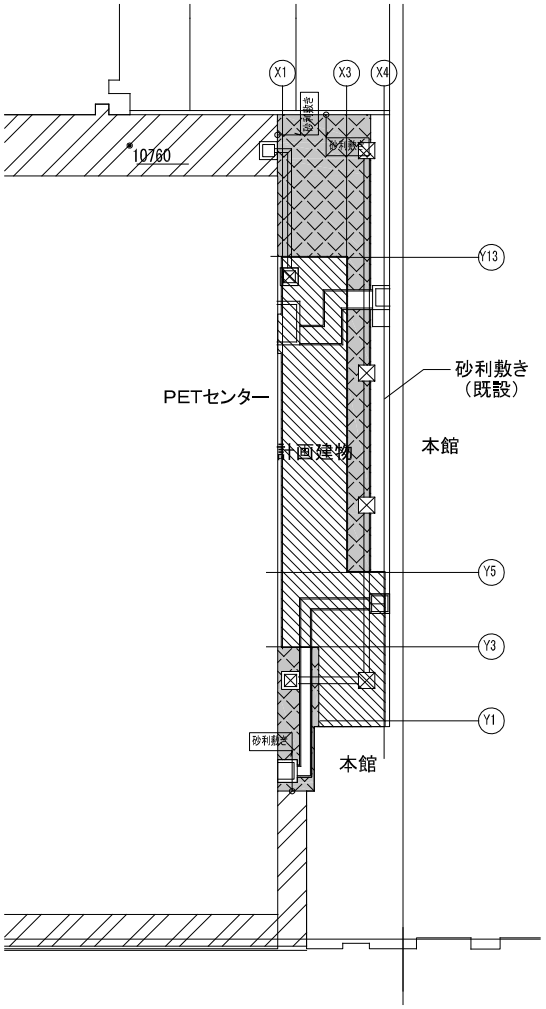
A − 26

1/200

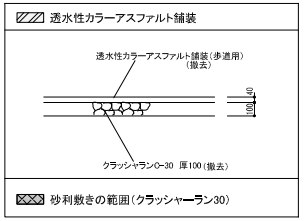




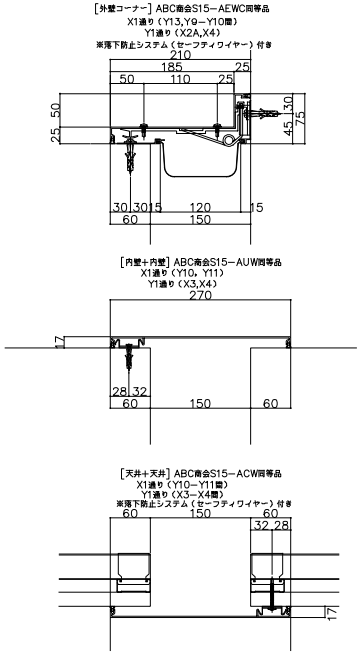
外構平面図（既存）



外構平面図（改修後）



EXP.J詳細図



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21061号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第23342号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第30749号
碓 井 典 之

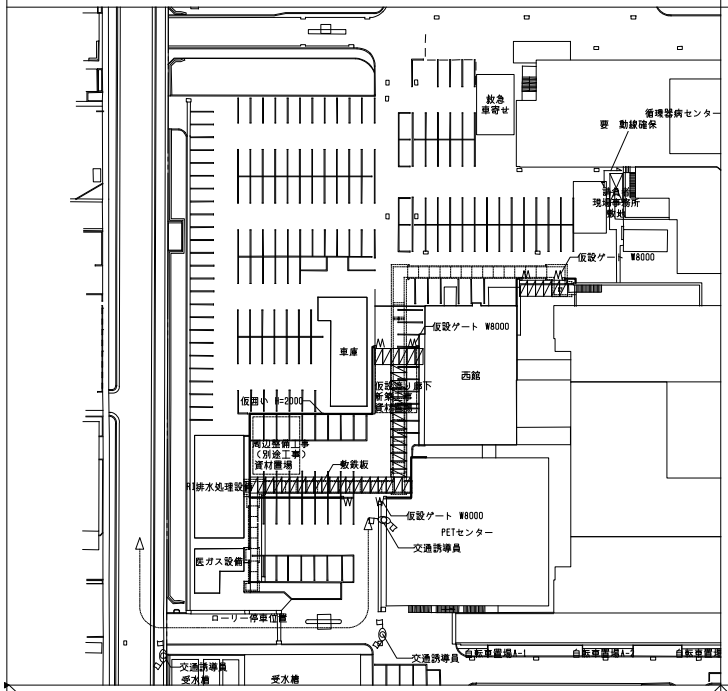
平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

外構平面図・雑詳細図

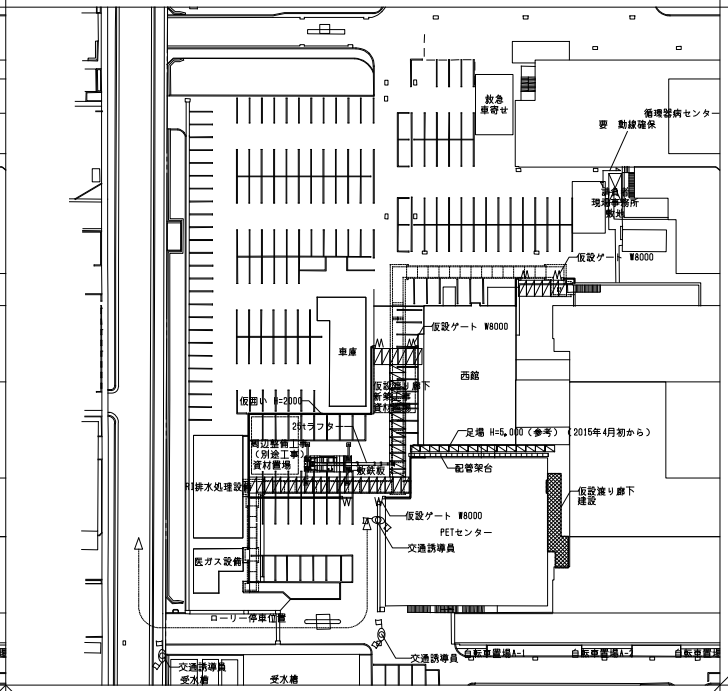
A1：1/40、100
A3：1/80、200

A − 27

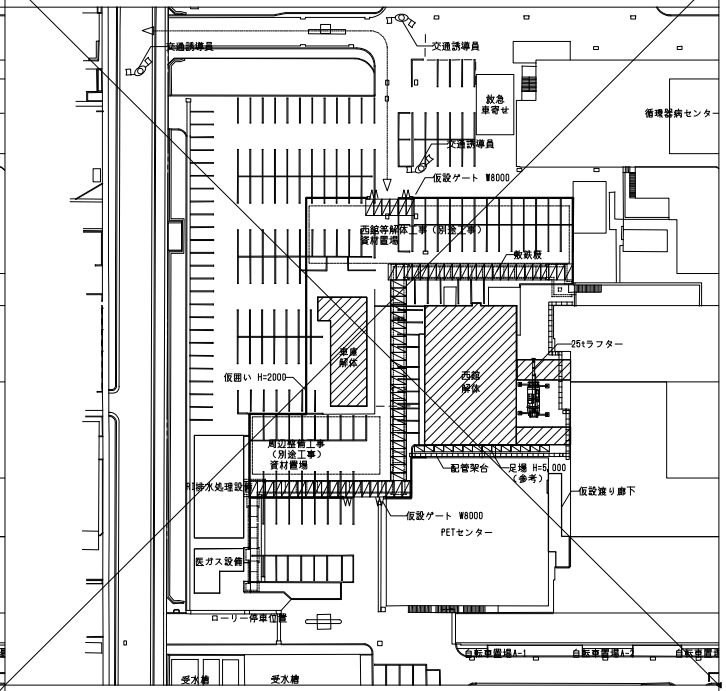
STEP1（2015年2月初～2月末）



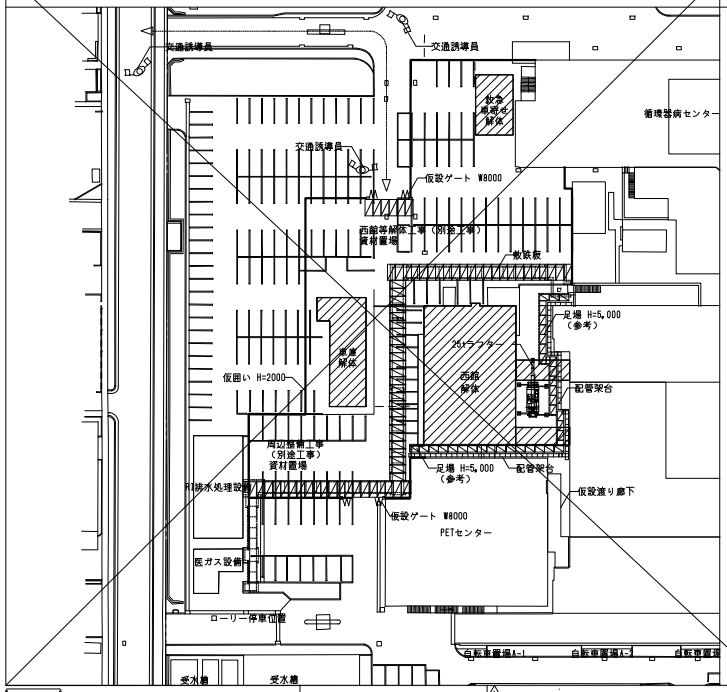
STEP2（2015年3月初～4月末）



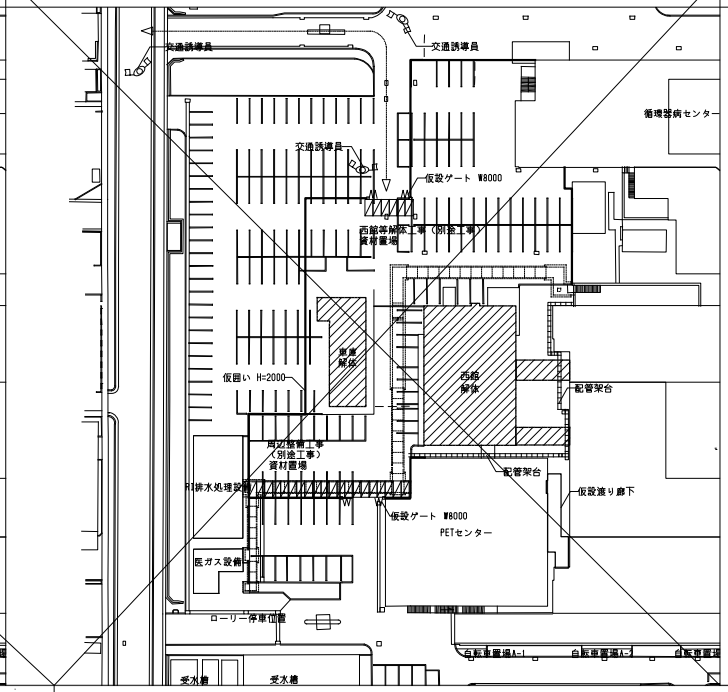
STEP3（2015年5月初～7月末）



STEP4（2015年8月初～9月中旬）



STEP5（2015年9月中旬～10月末）



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21061 5号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第23442号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第30749 2号
峪 井 眞 之

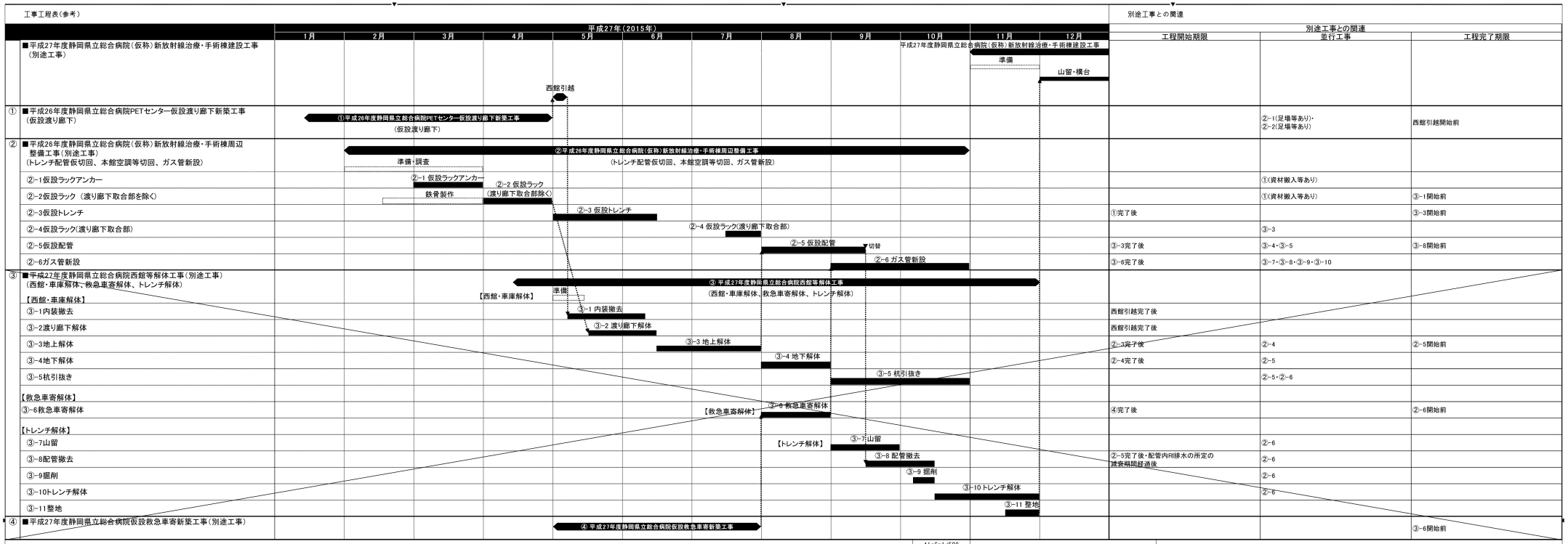
平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

仮設計画図（参考図）

A1：1/500
A3：1/1000

A－28

工事工程表（参考）

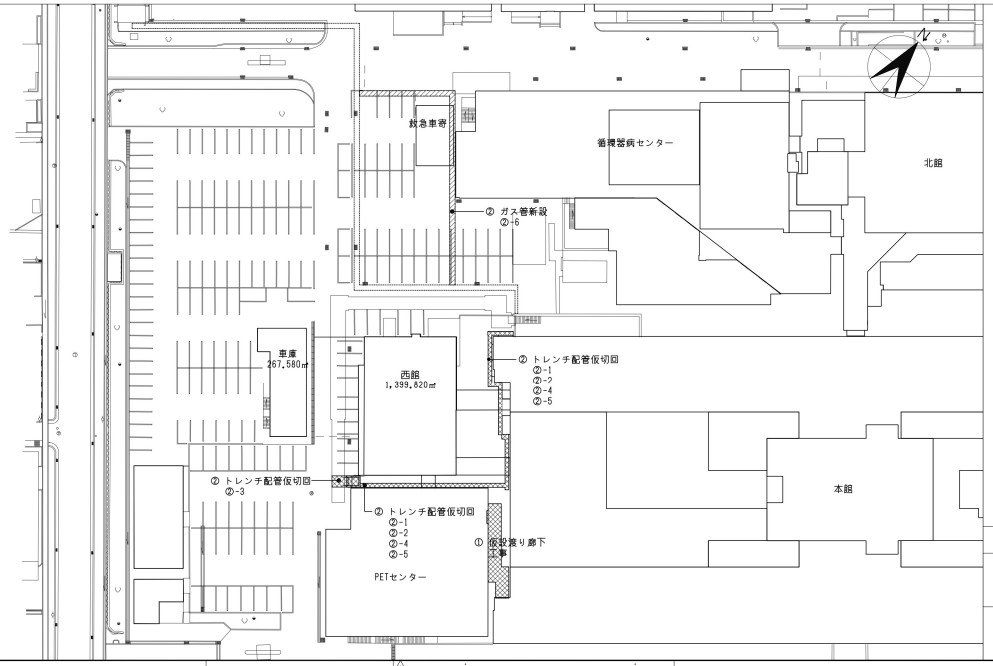


別途工事との関連

	別途工事との関連		
	工程開始期限	並行工事	工程完了期限
①		②-1(足場等あり)・②-2(足場等あり)	西館引越開始前
②			
②-1仮設ラックアンカー		①(資材搬入等あり)	
②-2仮設ラック（渡り廊下取合部を除く）		①(資材搬入等あり)	③-1開始前
②-3仮設トレンチ	①完了後		③-3開始前
②-4仮設ラック(渡り廊下取合部)		③-3	
②-5仮設配管	③-3完了後	③-4・③-5	③-8開始前
②-6ガス管新設	③-6完了後	③-7・③-8・③-9・③-10	
③			
【西館・車庫解体】			
③-1内装撤去	西館引越完了後		
③-2渡り廊下解体	西館引越完了後		
③-3地上解体	②-3完了後	②-4	②-5開始前
③-4地下解体	②-4完了後	②-5	
③-5杭引抜き		②-5・②-6	
【救急車寄解体】			
③-6救急車寄解体	④完了後		②-6開始前
【トレンチ解体】			
③-7山留		②-6	
③-8配管撤去	②-5完了後・配管内RI排水の所定の減衰期間経過後	②-6	
③-9掘削		②-6	
③-10トレンチ解体		②-6	
③-11整地			
④			③-6開始前

工事手順図

A1:S=1/500
A3:S=1/1000



凡例

	新設建物の範囲を示す。
	仮設建物の範囲を示す。

注意事項

・工事工程は参考であり、①から④の各工事の請負業者が作成する工事工程を元に、「別途工事との関連」に示す工程開始期限、工程完了期限が守られるように、また並行工事が安全・円滑に行えるように相互に工程及び仮設の調整を行うこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第21O615号
長 浦 雅 人

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第233442号
和 田 雅 彦

東京都品川区上大崎2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第307492号
朝 井 典 之

平成26年度静岡県立総合病院PETセンター仮設渡り廊下新築工事

関連工事工程表

A1:1/500
A3:1/1000

A－29